

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もとす広域連合 療育医療施設 幼児療育センター			
○保護者評価実施期間	令和6年9月2日		～	令和6年9月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	207	(回答者数)	197
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日		～	令和6年9月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動等のスペースが十分に確保されており、生活空間は清潔で心地よく過ごせるようになっている。	・グループ療育については、各学年で話し合い、活動内容によって使う指導室を割り振るようにしている。 ・用務員を中心に職員も協力し、施設内については、毎日清掃を行っている。	・個別療育を利用する方が増えており、お子さんの様子に合わせて指導室の調整をする必要がある。使用する指導室を誰が見ても分かるよう予定黒板の使い方を工夫し、周知する。 ・施設内はこまめに掃除ができていますが、園庭、畑の草取りが追い付かない状況であるため、園庭、畑の管理の仕方について検討をする。
2	・事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がされている。	・利用開始時には、一つ一つの書類の内容について、大事な所はマーカーを引きながら丁寧に説明するよう努めている。	・各種マニュアルが作成されている事、各種訓練がされている事、広報誌やHPがあること等、利用を開始する段階で説明し、大切な情報がどこにあるか利用者及び職員が分かるようにする。
3	・事業所の職員と日頃から子どもの状況を話し合い、共感的な支援がされている。	・今年度より、サービス提供時間を80分から100分に伸ばし、実際に一緒に活動する時間を設定したり、保護者の方とお子さんの様子についてお話をする時間を確保できるようにした。保護者の方と顔を合わせてお話をしていく中で、お子さんについて共に理解したり、支援について共に考えたりするように努めている。	・どの職員が対応しても、保護者の方の気持ちに寄り添い、お子さんについて一緒に考えていけるよう、日頃から職員間でも情報共有ができるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、研修や訓練を行っているが、保護者の方の中には知らない人が多い。 ・職員についても、職員会に参加していなかったり、回覧をじっくり見ていなかったりすると、どんなマニュアルが整備されているのかを知らない。	・各種マニュアルは、施設内の掲示板に設置してあるが、立ち止まって見る人はほとんどいない。 ・避難訓練については、指定された時間に通所する家族に協力していただき行っており、ほとんどの方は実際に訓練をする機会がない。また、水害訓練、不審者対応訓練、感染症対策訓練等は職員のみで行っているため、実施していることを知る人は少ない。 ・各種訓練を行ったときは、HPにて、訓練実施報告の記事を発信しているが、見ている人は少ない。	・各種マニュアルを作成している事や訓練を行っている事、また依頼があった時は協力してほしいといった事について、利用開始のアセスメント時に必ず説明をし、保護者の方に周知する。 ・利用開始時のアセスメント時に、広報誌、HPがあることを保護者の方に周知する。 ・HPにあげた記事を施設内掲示板に掲示しているが、目立たないので、目に留まりやすい場所に掲示をする。 ・職員間において、会計年度任用職員にも周知できるように、回覧の仕方を工夫する。
2	・家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等があるが、周知されていない。	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)と称して支援をしているわけではないが、ペアレント・プログラムの考え方をもとに支援を行っていることが周知されていない。 ・療育講座などで保護者向けの研修会を年3回ほど行っている。掲示板に案内を貼りだしたり、口頭でも案内をしているが、働いている保護者の方が多いため、出席される方は少ない。	・年度内に療育センターの支援プログラムを改定し、公表する。その中に、療育センターでの家族支援プログラムについて記載する。 ・療育センターの支援プログラムをもとに、令和7年度中に療育センターのパンフレットを作成し、利用開始時に保護者へ配布、説明を行い、療育センターの療育内容について周知を図る。 ・療育講座が周知され、出席される方が増えるよう、療育講座の開催時期等について検討をする。
3	・サービス提供時間を80分から100分に延ばしたことから、サービス内容の充実は図れたが、利用児の入れ替えの時間がほぼないため、十分な打ち合わせや振り返りを行うことが難しい。次の時間の準備をする暇がない。	・利用児の様子に合わせて指導時間等柔軟に対応できるようなシステムが必要である。	・サービス提供時間について利用児に合わせて設定できるように検討する。 ・時間の効率的な使い方について検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 もとす広域連合 療育医療施設 幼児療育センター

公表日 令和6年 10月 10日

利用児童数 205人

回収数 197

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	195	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん活動ができ満足しています。 ・広く、いろいろな遊具があります。下はマットが敷いてある等、危険がないようになっていと感じます。 ・ホールや訓練室やランチルームなどがあるので、十分だと思います。 ・ホールで遊ぶ時、人が多い時があって、危ないと思う時もあります。 ・いつも快適に過ごさせて頂き、感謝しています。 ・個別教室はもちろん、大きなホールもあり、体幹トレーニングが様々な、楽しめる訓練スペースがあつてよいと思います。 ・お弁当を食べる時、いっぱい座れないことが時にある。下駄箱の靴をはくスペースがもう少し広くてもよい。 ・何も不満はないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。ホールについては、雨天時、猛暑日などの個別指導の際に子どもたちが集まり、危ないと感じる場面がある事は確かです。常に指導員がついておりますので、ある程度の危険回避はできるものと思っておりますが、状況によって活動場所を考えるなどの配慮をするよう職員に周知していきたいと思っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	189	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1で嬉しいです。 ・1対1で付いてもらえるのが心強いです。 ・1対1で担当して頂けるので安心しています。 ・たくさん先生がいらっしゃり安心しています。 ・子ども先生の顔が覚えられ丁度よいと思います。 ・特に行き帰りがすばらしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年9月現在、利用児の約60%の方が個別療育を受けておられます。約40%の方はグループ療育を利用されておりますが、お子さん2名に対し職員1名の割合で職員配置させて頂いております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	185	8	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教室がすっきり。物があまり置かれていないのが良いと思います。 ・玄関が広くていいのですが、すのこのエリアがもう少しあるといいと思います。 ・マークなどで子どもが何をやる部屋かわかりやすいです。 ・バリアフリーはこのままで良いです。空間については、決められた物、例えば本など本棚の場所も決まってお、片づける、戻す習慣づけになり良いと思います。 ・ホールと訓練室の利用の差が若干分りにくいかなと思います。ホールが絶対的に多いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登降時の時間帯が重なるため、靴の着脱をする際、ご不便をおかけしており、申し訳ありません。入口を分散するなど対応をし、混雑の解消を検討したいと思っております。 ・お子さんの様子や活動内容によって、ホールや訓練室を使い分けております。ホールでは粗大運動(身体全体を使う運動遊びやゲーム遊びなど)を主に、訓練室では感覚統合遊び(揺れる吊り遊具、ボールプール、トランポリン等)ができるようになっております。どこの部屋でどんな遊びをするのかは、写真を見せたりし、子どもたちに分かりやすく提示するよう配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	194	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・どの部屋も綺麗です。 ・毎朝、下駄箱付近の掃除をして頂いており、抵抗なく座る子どもの姿が見られ感謝しています。 ・蜘蛛や虫が寄り付かない窓のスプレーもあるのですが、窓などに使ってほしいです。 ・危険な物(ハサミなど)も閉められる棚にあり、活動によって使用できるようになっており良いと思います。 ・いつもすごく綺麗で気持ち良いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が掃除をしたのち、防虫スプレーをかけておりますが、見落とし気味な場所もあるかと思っております。申し訳ありません。蜘蛛の巣等お気づきの点がありましたら、職員にお声掛けください。
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	181	12	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に合った遊びが考えられていて嬉しいです。 ・子どもに合わせた声掛け、設定、環境を用意してくださりいつも楽しんでいます。 ・身体を動かしたり、水など触りたかったりする子どもの好きな事を取り入れているので、受け入れてくれると思います。 ・集団での療育が難しいと思うと相談したらすぐに個別での療育へ対応してくれました。 ・どんなことを質問したり、相談しても適切なアドバイスを頂いています。 ・子に合った興味のある事を取り入れ、楽しみながら訓練が受けられています。 ・ずっと通いたくらい、十分満足しています。最高です。 ・比較ができないため分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの事を理解し、特性に応じた支援を行うには保護者の方からの情報が不可欠です。どんなことでも疑問に思ったり不安に思ったりしたら、職員にお声掛けください。 	
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	178	6	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・いい意味で、公表しているよりも手厚く支援してくださっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もとす広域連合」HPにて、施設概要や支援内容は公表しております。今年度中に支援プログラムを作成し、HPにて公表する予定です。 	

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	187	6	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの聞き取りは十分なので、指導員から見た子どもの課題感を随時フィードバックいただきたいです。 ・丁寧にアンケートや話を聞いて考えてくれて嬉しいです。 ・私が気づけていないことも客観的に分析し、計画書で提示いただくことで、気づき意識できるよくなりました。「さすがプロだな」と思いました。 ・よく考えて下さっているといます。自分では気づかない事もあるので勉強になります。 ・子どもの個性を引き伸ばしていることにとても感謝しています。 ・子どものことも親のニーズにも寄り添って頂いています。 ・短期目標と長期目標が定められ、解決に向け、同じ目標で関わってもらえてよいと思います。 ・いつも助けてもらって心から感謝しています。 ・親の思いをよく聞いてくださりありがたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りさせて頂いた保護者の方のニーズとお子さんの様子を踏まえ、個別支援計画を作成し、支援をしております。個別支援計画を作成する際は、担当職員、学年のリーダー、児童発達支援管理責任者とお子さんに関わる職員で内容について検討をしております。基本的に療育中は保護者の方にもお子さんの様子を参観していただいておりますので、指導後、療育の様子を踏まえて担当職員とその都度お子さんの様子や課題、出来るようになった事等、お話ししていただければと思っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	179	8	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・箇機応変にごちらのニーズに寄り添ってくださっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育センターでは、児童発達支援ガイドラインに定められている、「本人支援・移行支援」「家族支援」「地域支援」について個別支援計画の中で、それぞれに目標をたて、具体的な支援方法や内容について明記するよう配慮しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	178	14	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しくはわかりませんが、個人に合った取り組みだと思います。 ・少しずつステップアップして頂きありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に個別支援計画に書かれてる目標を念頭において支援しています。また、成長度合いに合わせ、随時、個別支援計画の見直しも行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	180	8	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・行くたびに違う活動をしていただいているので、毎回楽しんでいます。 ・一連の流れを繰り返しながらも様々な活動が組み立てられており興味深いです。 ・固定の遊びも多いが、宝石遊びや絵本遊びなど色々したいです。みんなの中に入れない時は他の遊びでもよいと思います。 ・毎回考えて下さっている意味ある遊びが楽しみで参考になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような題材を使って遊ぶことも多いですが、題材が同じでも内容（遊び方等）を少しずつ変えて提供するようにしております。療育活動の流れを一定にすることで、お子さんが療育センターでの活動について見通しを持ちやすいようにしております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	116	18	18	45	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法は個人なので、園がほとんどですが、他の場でも知らない子の側によく遊びます。 ・多分まだありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児療育センターを利用している年少、年中、年長のお子さんの9/8の方は、保育園・幼稚園との併用をされているので、他の子どもさんと活動する機会が保証されていると理解しており、幼児療育センターが改めて交流の機会を設ける等することはしておりません。未就園児の方等で、地域の子どもたちと関わる必要があると思われる方には、地域の子育て支援センター等を紹介しております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	189	4	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・マーカーを引きながらわかり易く説明してもらえた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限りわかり易い説明を心掛けております。ご不明な点がございましたら、その都度お声掛けください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	177	10	5	5		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時より、保護者の方とニーズや支援の内容について打ち合わせ支援計画を作成するようにしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	135	23	6	33	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと聞きたい、知りたいので、機会があると嬉しい。 ・研修会はわかりませんが、家族が参加しやすくなっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育講座として年3～4回保護者の方向けの研修会を企画しております。ぜひご参加ください。 ・毎回の療育の中で、ペアレント・プログラム（ペアレント・トレーニングの前段階）の考え方のもと、親子での活動があったり、それぞれのお子さんの対応や様子についての話をしております。まずは一緒にお子さんの出来るところ、良いところを見つけ、いっぱい褒めていくところから始めましょう。どのように褒めると効果的なのかも一緒に考えていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	183	9	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回出来たこと、出来るようになったことを伝えてもらえる。 ・子どもの様子を見ながら成長した姿、声のかけ方等、教えて下さり家庭でも実践できています。 ・毎回、担任の先生とお話しさせて頂いています。 ・共感して頂いています。 ・充分すぎる程感謝し、参考にしています。 	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	172	15	3	7	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的かは不明ですが、ちょっとした質問にも親身になってくださり、本当に感謝しています。 ・指導後に先生に話をしてアドバイスなどしてもらえらるのありがたい。 ・面談も各時間のアドバイスも私にとってはとても重要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育後、保護者の方と職員がお子さんの療育での様子や園や家での様子、困りごとや嬉しかったことなど話をする時間があります。いろいろお話しする中で、子育てに関する事なども一緒に考えていただけらと思ってあります。 ・ゆっくり話したい場合は、事業所内相談支援のサービスをご活用ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	189	3	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものやりたい事を受け入れながら指導して頂けるのでそう思います。 ・否定をせず向き合ってくれるので、一番相談しやすいです。(親、幼稚園、友人よりも) ・たくさん先生からお声掛け頂きありがたいです。 ・すばらしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんと、保護者の方とも共感的に関われるよう心掛けてあります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	63	31	28	75	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等の案内をもらったことはない。 ・機会はあるのかもしれませんが、なかなか参加するのが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、当センターでは父母の会、保護者会等の活動は行っておりませんが、同じ時間に顔を合わせる保護者の方が活動や場を共有することによって交流ができるように考えてあります。きょうだい児につきましても、長期休暇の際は来所していただき、控室で共に過ごしながら交流する姿も見られます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	160	15	2	20	<ul style="list-style-type: none"> ・とても迅速かつ細やかなフォローをしていただきました。感謝しています。 ・きょうだいの事を相談したらとても早く対応してもらえて助かりました。 ・すぐに対応してくれて本当に心強いです。 ・担当指導員だけでなく、他の方からも声を掛けてもらえます。フォローが厚いです。 ・対応の迅速さはいつも頭が下がる。 ・担任の先生に相談するとすぐに必要な方に伝えてくださり、対応頂けてありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事や申入れがあった際は、迅速に対応できるよう心掛けてあります。 ・特に相談事について、事業所内相談支援のサービスがある事は、年度初めの説明会で保護者の方に説明すると共に、廊下の掲示板でもご案内させて頂いておりますので、担当者をご確認ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	179	11	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが突発的に動くことがあり、ゆっくり話すことが難しい時もあるが、色々配慮してくれるのでありがたい。 ・子どもにもあまり聞かせたくない話があることも種にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供時間の後半に保護者の方とお話をする時間をとっております。お子さんの様子に合わせて、お話ができるよう配慮できたらと思ってあります。 ・お子さんに聞かせたくない話があることに職員が気づかない事もあるかと思えます。そのような時は、遠慮なく申し出をしてください。別に時間をとるなど配慮させていただきたいと考えてあります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	102	22	8	65	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNSのことは知らない。広報のことは知っている。 ・通信、HP、SNSはない。 ・年間行事が頂けると予定が立てやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSは利用しておりません。 ・もとす広域連合の広報誌「わっちら」が年4回発行されています。その中に、幼児療育センターの紹介ページがありますので、ぜひご覧ください。 ・もとす広域連合のホームページの中にも、幼児療育センターのページがあります。施設概要はもとより、「お知らせ」ページでは行事や訓練、見学、実習などの情報が発信されておりますので是非ご覧ください。(ホームページの「お知らせ」にアップされている記事は、相談室様の掲示板にも貼りだしてありますので是非ご覧ください。) ・事業所評価の結果についても、もとす広域連合ホームページに掲載します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	184	4	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・疑ったことは全くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、実績票は職員から保護者の方に手渡し、確認後、保護者の方が事務室へ提出する方法に変更しました。 ・職員が持っているクリップボードもカバー付きの物に変更し、記入してあるお子さんの情報が見えないように変更しました。 ・関係機関に提出する書類や情報は事前に保護者の方の同意を得てあります。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	122	20	4	51	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の話は聞いたことがない。参加したことはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは策定されており、事務室様の掲示板に掲示してありますのでご確認ください。 ・緊急時の対応については、アセスメントの際に説明し、お子さんがお持ちの「アイ・あいBOOK」に書面が挟んでありますのでご確認ください。 ・定期的に法定訓練を行っておりますが、日時等の都合により参加できなかった方に対しては分かっていただけたら、その手順や様子についてHPに掲載したり、施設内にも掲示させて頂いておりますのでご確認ください。 	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	95	21	4	77	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を見る機会はないので分からない。 ・先生方は行っていると伺いました。 ・間違いないかと思いますが、ちょっと分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された日時のお子さんにご協力いただき、年2回地震や火災に備えた避難訓練を実施しております。その他、職員は、水害訓練、不審者対応訓練を行っております。 ・各種訓練を行った際は、ホームページの「お知らせ」欄に記事をアップしておりますのでご確認ください。（相談室横の掲示板にも記事を貼り付けております）
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	162	10	2	23	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児療育センターでは、安全計画を策定し、安全に配慮しながら支援を行っておりますが、十分な周知が行われておりませんので、掲示や配布をし、周知できるよう掛けたいと考えております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	118	20	2	57	<ul style="list-style-type: none"> ・きっとそうしてくれると思っている。 ・怪我をしたことがない。 ・今までその機会がなかったので分からない。 ・担任の先生は親が少し席を外しただけでも、その間の子ども様を教えて下さる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方も療育を見学・参加して頂いているので、万一事故等が発生した際は、その場ですぐに保護者の方に報告・対応するようにしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	193	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の事好きです。友だちの事も好きです。 ・先生とも安心して遊んでいるのが、姿を見ていてわかるので、ありがとうございます。 ・毎回早く行きたいと言っている姿を見ると、安心感や信頼していると感じる。 ・先生方が挨拶含めたくさん声をかけてくださりありがたいです。 ・先生のことを信頼し、安心して通所しています。 ・すぐ笑顔も見られ子どもらしく過ごせている。 ・センターに来ればご機嫌です。ありがとうございます。 ・緊張することなくリラックスして通っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんもご家族の方も安心して利用して頂けるよう、今後も取り組んでいきたいと考えております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	183	11	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年（年中）のプログラムの方が楽しみにしていた。 ・とても楽しみにしている。 ・すごく楽しみにしています。先生と話をすることが嬉しい様子です。 ・とても楽しんで活動もできています。 ・毎週楽しみにしています。 ・毎回、何をするかワクワクして行ってくれているし、お友だちに会えることも楽しみのようです。 ・とても楽しみにしていて早起きするくらいです。 ・休みだとかっかりしています。 ・毎週行きたい行きたいと楽しみにしております。 ・とても楽しみにしています。“今日何やるかな”というも言っています。 ・毎回とても楽しみに通わせて頂いています。 ・とても楽しみにしています。 ・もちろんです。ずっと来たいくらいです。 ・毎週通うのを楽しみにしています。 ・嫌がってはいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度によって、職員によって、提供する支援に差がないよう、職員一人一人の資質の向上に努めてまいります。 ・お子さんご家族の方も療育の日を楽しみにしていただけるよう、今後も取り組んでいきたいと考えております。

29	事業所の支援に満足していますか。	179	16	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。 ・他の児発の施設との併用をOKにしてもらいたい です。内容的にセンターと他の施設がしているこ とが違っている様に感じるので、併用で支援を受 けたいです。 ・支援は満足してます。時間割や構成が昨年（年 中）の方が良かったです。 ・子どもとの関わり方がとても愛情深く、安心で きています。子どもが嬉しそう楽しそうで何よりで す。 ・子どもに合わせて遊びを考えてくださり、とて も感謝しています。ありがとうございます。 ・子どもに寄り添い、共感しながら指導して頂 き、親にも寄り添ったアドバイスをしていただ けるので、とても満足している。 ・特に今年に入ってから相談したいことが増えた のですが、話しやすい方々に聞かれて安心して通 わせられます。 ・子どもも親も助けて頂きとても感謝していま す。 ・親子共に楽しく通所させて頂いています。 ・もちろんです。ほんとに感謝しています。 ・満足しています。 ・職員の方々が、子どもに声を掛けて下さるの で嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設と併用していらっしゃる方もいらっしゃる と思います。併用の申し出があった際は、お子さんの様子 や状況を加味し、市町福祉課とも相談させて頂いた 上で、保護者の方と利用の方向性についてお 話しさせて頂いております。 ・時間割や構成については、年度によって変えてお ります。利用されるお子さんやご家族の方、1人 でも多くの方に満足していただけるよう、検討し取り 組んでいきたいと考えております。
----	------------------	-----	----	---	---	--	---

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

※ この自己評価については、施設の職員が個々に感じる施設の強み又は課題等について、記載したことを取りまとめており、総括表にて改善策の提示をさせていただいております。

事業所名		公表日				
もとす広域連合 療育医療施設 幼児療育センター		令和6年 10月 10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児が多い時間は、パーティションで仕切り個別の空間を作ったり、検査室や相談室など空いている部屋を利用したりして対応している。 ・個別対応の時間にどの部屋を使うかは、予定黒板に青字で記入するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間によっては利用児がとても多いことがある。 ・個別対応の際、使われている部屋と使われていない部屋が分からない。 ・グループ療育と個別療育が重なる時間帯では、部屋をどこにするかでバタバタする時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント時に各学年のグループ指導に体験的に入ることで、児童発達支援管理責任者だけでなく、学年リーダーや関係する職員もお子さんの様子を把握し、職員を配置するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態に対して職員数の足りていないところがある。 ・職員の配置は支援の度合いによって、もう少し工夫することが出来そうだと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動によって部屋を変えるなどし、わかりやすい環境設定をしている。 ・室内はバリアフリーになっている。 ・子ども用トイレや一部の部屋には床暖房も完備されている。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が室内の清掃を毎日している。職員も指導後には各指導室の清掃をしている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない部屋は基本的にどの部屋を使っても良いことになっている。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	4	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの業務に対して、目標設定と振り返りをするよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身があまりできていないと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年事業所評価アンケートを実施し、公表している。 ・頂いた意見をもとに、業務改善された内容もある。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとの話し合いや職員会を利用し、業務改善につなげている。 ・面談などで職員一人一人の意見を聞く機会がある。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	5	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、地域の方々のご意見を聞き、業務改善につなげるため「幼児療育センター評価委員会」を開催することとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明確なものはないのではないかと。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育講座、公開療育、ケース検討会など、施設内で研修する機会がある。 ・児童発達支援管理責任者や相談支援専門員の研修も受けている。 ・研究会（公開療育）の前には、施設内で事前検討会を行っている。 ・他施設で開催される研修や公開療育など、職員の希望があれば参加している。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設概要や支援内容はすでにHPで公表されている。 ・今年度中に支援プログラムを新たに作成し公表する予定。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所の相談時にはお子さんの個別の様子を、児童発達支援事業所では、アセスメント時にグループでの様子を確認し、保護者の方とも話し合った上で、個別支援計画書を作成している。 ・日頃から保護者の方とニーズやお子さんの様子について話し合っている。 	

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22	0	・相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、学年のリーダー、担当職員とお子さんの支援に関わる職員が共通理解のもと支援計画を作成している。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	1	・グループ療育の際などは、お子さんに関わる複数の職員がお子さんの様子を共通理解した上で、支援を行うよう努めている。	・計画に沿った支援はされているが、職員間では十分に共有されていないのではないかとと思う。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	2	・必要に応じて、発達検査や質問紙などを用い、客観的にお子さんを把握すると共に、行動観察は常に行い支援に当たっている。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	0	・個別支援計画書には、「本人支援・移行支援」「家族支援」「地域支援」の項目を立て、それぞれに必ず目標を作り、支援内容を考えるようになっている。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	22	0	・グループ療育においては、各学年のリーダーを中心に、チームで活動内容を考えている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	1	・繰り返しの中にも少しずつ変化があるように活動を考えている。 ・子ども反応に応じて活動を展開するようにしている。	・同じことの繰り返しになっているところもあるのではないかと。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	0	・今年度より、グループ療育利用のお子さんにも年間数回の個別療育の時間を設け、それぞれのお子さんの個別のニーズにも対応できるようにしている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	1	・グループ療育の際は、短い合間の時間を使って、効率的に打ち合わせをするように努めている。	・行ってるが常時ではない。毎回必ず打ち合わせるには時間に余裕がない。 ・もう少し十分な時間が取れるとよいと思う。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	5	・サービス提供時間を長くしたことで、合間の時間が短くなり、余裕がないといった状況であるが、いかに必要な事を効率的に行うかを考え業務に努めている。	・行ってるが常時ではない。毎回必ず打ち合わせるには時間に余裕がない。 ・そうした必要性を感じても十分とれていないのではないかとと思う。 ・振り返りをする時間が無くなった。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	0	・個々の記録をもとに、グループごとに話し合いをしている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22	0	・6ヶ月に1度個別支援計画書の見直しを行っている。 ・園訪問に行った後など、個別支援計画書の内容に変更がある場合にも、見直しを行っている。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22	0	・児童発達支援管理責任者、学年のリーダー、担当職員など、お子さんの状況を理解したものが出席するようにしている。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	0	・行政、福祉、医療、教育等、関係機関と連携して支援を行うよう努めている。 ・希望が丘こども医療福祉センターでリハビリを受けているお子さんについては、保護者の同意のもと、訪問支援の制度を使い、ケースの検討を行っている。 ・保育園・幼稚園訪問も積極的に行っている。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0	・インクルージョンの観点から、お子さんが利用する園と連携をとり、支援をしている。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0	・就学の際には、保護者の方を交え、教育委員会とも連携を密にとっている。 ・就学後にも、幼児期に行っていた支援を参考にさせていただけるよう、書面を作成し、保護者の方の同意のもと、小学校とも情報共有を図っている。	
	(28～30は、センターのみ回答)				

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	13	9	(岐阜県域にある児童発達支援センターは岐阜市にある「ポッポの家」のみです。)・遠いこともあり、スーパーバイズや助言を受ける機会はありません。・児童発達支援センターではありませんが、県の機関として、希望が丘こども医療福祉センター地域療育支援係とは、連携をとっており、スーパーバイズや助言を頂いている。	・連携するケースもあるが、スーパーバイズを受けたりはしていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	12	10	・幼児療育センターを利用している年少、年中、年長のお子さんの98%の方は、保育園・幼稚園との併用をされているので、他のお子さんと活動する機会が保証されていると理解しており、幼児療育センターがあえて交流の機会を設ける等することはしていない。・療育の中で、地域の公園へ行く事もあり、地域の子どもたちと関わる場面がある事もある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	22	0	・保護者の方と活動を共にしたり、お話をする時間を十分とるよう、サービス提供時間を設定しなおし、お子さんの状況について共通理解できるよう努めている。	
保護者への説明	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	21	1	・年間3回程度、保護者向けの療育講座を開き、研修機会の提供している。・外部で行われる研修についての情報は、施設内廊下掲示板にてお知らせしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22	0	・入所時のアセスメントの際、時間をとって説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	21	1	・個別支援計画書を作成する際には、アセスメントやモニタリングをとり、お子さんの状況と保護者のニーズについてすり合わせをしてから、作成するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	22	0	・個別支援計画書の内容について説明し、同意を得るようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21	1	・療育後は毎回、家族の方とお話をする時間を設けており、その都度相談にも応じている。・事業所内相談支援のサービスを使い、児童発達支援管理責任者が相談対応することもある。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	12	(保護者の方の負担を考え、平成13年より父母の会はなくなりました。)・親子通園の施設なので、毎週顔を合わせる保護者の方がそれぞれに交流をしている。・お子さんの様子に合わせて指導時間を設定させて頂いているので、似たような特性のあるお子さんの保護者の方同士、悩みや近況報告などされている様子が見られる。・きょうだい同士で交流する機会はあるが作っていないが、療育についてきて、顔を合わせたところでそれぞれに交流していることもある。	
40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21	1	・事業所内相談支援のサービスについては、児童発達支援管理責任者を中心に、対応できる職員が、迅速に対応できるよう努めている。		

寺	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ療育、未就園児療育を利用の方については、毎月おたよりをだし、支援の内容等についてお知らせしている。 ・活動概要や行事等については、もとす広域連合広報誌「わっちら」や、もとす広域連合HPにて、随時発信している。 ・広報誌「わっちら」については、施設内玄関付近に設置しいつでも閲覧できるようにしている。 ・HPにアップした記事については、相談室横の掲示板に掲示しており、いつでも見られるようにしている。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、実績票は職員から保護者の方に手渡し、確認後、保護者の方が事務室へ提出する方法に変更した。 ・職員が持っているクリップボードも折りたたみ式のものに変更し、記入してあるお子さんの情報が見えないように変更した。 ・関係機関に提出する書類や情報は事前に保護者の方の同意をすべて得ている。 	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意思疎通や情報伝達がスムーズに行われるよう、視覚的な情報を加え説明したり、翻訳アプリを利用したり等、それぞれの状況に合わせて配慮している。 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	6	<ul style="list-style-type: none"> (特にそのような行事は行っておりません) ・地域の産品回収などで、地域の方が駐車場を利用されることはある。 	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれマニュアルを作成し、研修、訓練等行っています。訓練等の様子については、HPにて公表しています。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（BCP）を策定し、訓練を行っている。 ・訓練の様子については、HPにて公表している。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・初回アセスメント時には、既往歴、服薬等について保護者から聞き取るように努めている。 ・親子通園なので、随時保護者の方より情報を提供していただいている。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	5	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の申し出により対応するようにしている。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、研修、訓練、点検等行った上で、支援をしている。 	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み内容については、HPや施設内掲示板にて周知するようにしています。入所時のアセスメントの際にも避難訓練等について説明をしています。 ・遊具の点検も業者に委託して行っている。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例や再発防止に向けた方策については、朝の連絡会で報告したり、書面にて回覧するなどして周知するようにしている。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を開催すると共に、虐待防止研修を実施し、適切な対応について周知するようにしている。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束を行うようなケースは今のところありません。 ・身体拘束適正化研修にて身体拘束について十分に理解したうえで身体拘束適正化委員会に回るなどし、適切に対応するよう努めたいと思っている。 		